

農作業
安全月間
実施中!!



10月は秋の農作業安全月間

農作業中の事故発生リスク

営農情報



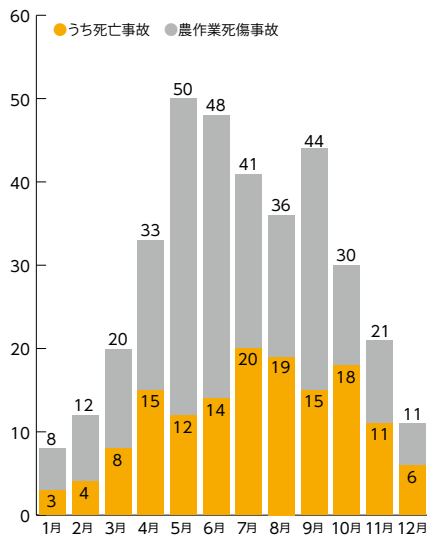
Farming
Information

農業の機械化や温暖化による気象状況の変化の影響を受け、農作業における事故発生リスクは近年増大しています。農作業安全月間を機に、現況を捉え考えてみましょう。

01 全国の農作業事故 発生状況

全国における令和6年の農作業事故件数は合計354件で、昨年より50件程度の増加です。例年4～10月の農繁期に多く事故が発生します。

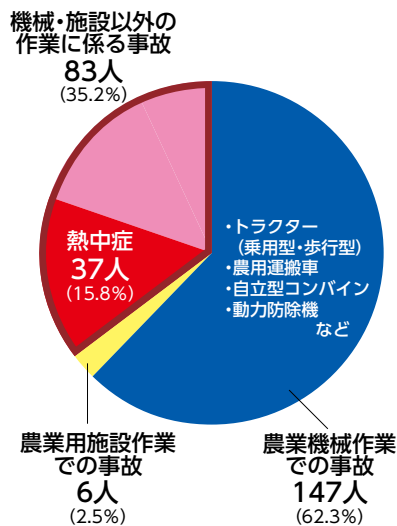
死傷事故件数(令和6年)



02 熱中症が要因の農作業死亡事故発生状況

令和5年に発生した農作業死亡事故(要因別)のうち機械・施設以外の作業に係る事故において、「熱中症」が要因として最も挙がっています。

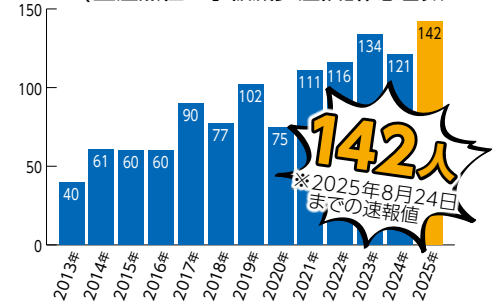
要因別の農作業死亡事故発生状況(令和5年)



03 SFTS(重症熱性血小板減少症候群) 感染状況

2025年8月24日までの速報値時点で、マダニが媒介するSFTSに感染した今年の患者数が過去最多の142人となりました。マダニに好適な真夏の高温傾向が主な要因となり、感染拡大が進んでいます。

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)患者数



フタトゲチマダニ



キチマダニ

日本で少なくともヒトへの感染に関与している、フタトゲチマダニやキチマダニ
※地域により媒介するダニの種類は異なる

pick
up

大好評!! 盆花の販売会

特産振興課は経済センター野菜集荷場内で、毎年人気の盆花の販売会を開催しました。大好評につき今年は引取日を本格的に設けた予約販売も開始し、当日販売と合わせて約750束お買い上げ頂きました。

販売会の盆花は全て花卉生産者である花卉部会会員が出荷したもので、その美しさ・新鮮さや日持ちのよさから大変高い評価を受けています。20代から80代と幅広い年齢層の生産者26名が今年の高温少雨で不作も危ぶまれる中、懸命に育て上げました。今年は県・JAが関西地方の仏花用組花向けに生産振興を推進するリンドウも加わり、一層彩り豊かなラインナップとなりました。

12月に正月用ハボタンの販売会開催を予定しています。詳しくは追ってお知らせしますので、楽しみにお待ちください。



短茎小菊



リンドウ



千日紅



トルコギキョウ



合わせて地域特産品も販売しました!!